
盟和産業株式会社
2021年3月期 決算説明会

2021年5月28日



目次

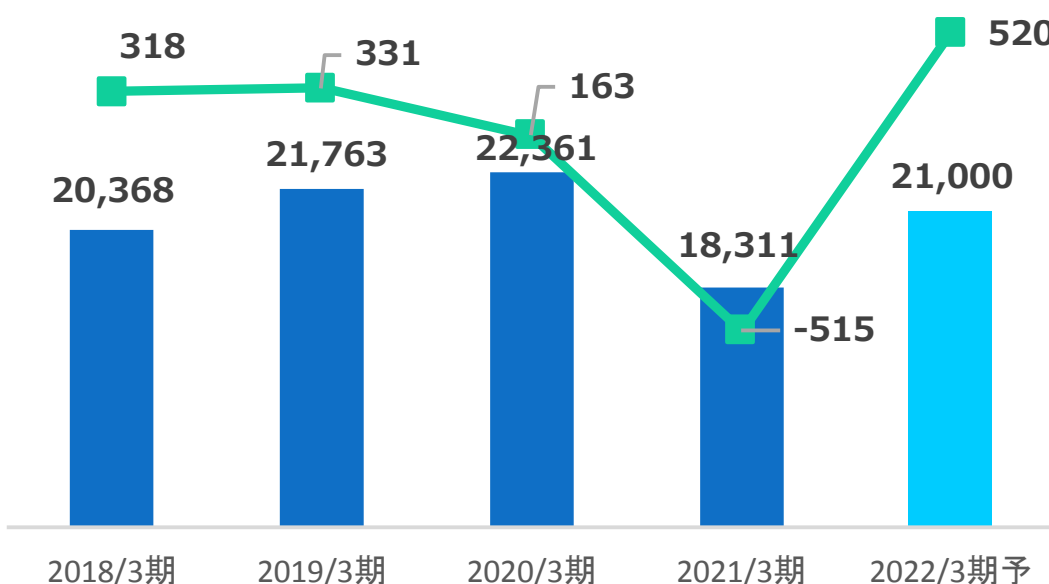
- I 決算レビュー
- II 通期業績見通しおよび
重点課題の取組み
- III 株主還元
- IV (ご参考) 売上高の内訳等

I 決算レビュー

決算の主なポイント

業績推移

■ 売上高 ■ 営業利益 (単位：百万円)



年間配当推移

(1株当たり円)



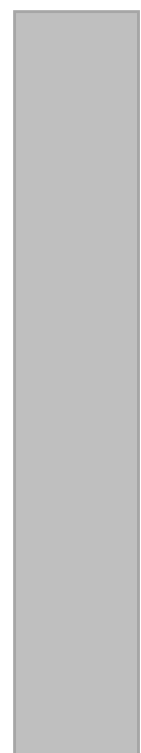
- 1 新型コロナ影響により減収、損失計上ながら下期6ヶ月間で営業黒字化**
- 2 収益力強化に向けた取組み実施、22年3月期で黒字回復計画**
- 3 期末配当1株当たり25円（年間25円）22年3月期は年間50円を計画**

連結業績の概要

(百万円)

■ 2020/3期
■ 2021/3期

22,361



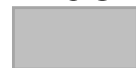
18,311



コロナ影響により
前期比△18.1%

売上高

163

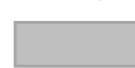


△515

営業利益

下期(6ヶ月)で
営業利益黒字化

109



△525

経常利益

業績回復に向け
収益改善の取組み実施

268



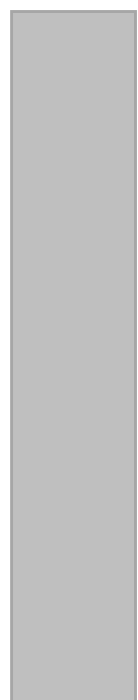
△1,028

親会社株主に帰属する
当期純利益

連結業績（半期毎）

上期

11,359



7,754



売上高

127



△584

営業利益

下期

11,002



10,556



売上高

36



68



営業利益

(百万円)

■ 2020/3期

■ 2021/3期

■ 下期営業黒字回復

セグメント別業績（半期毎）

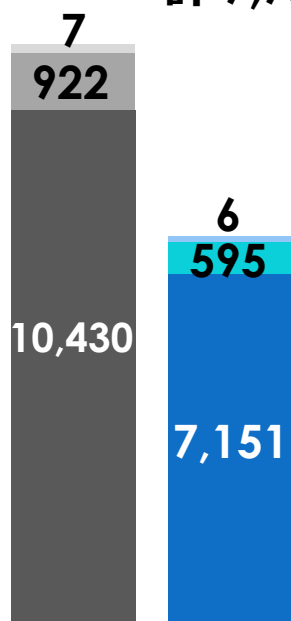
上期

下期

(百万円)

計 11,359

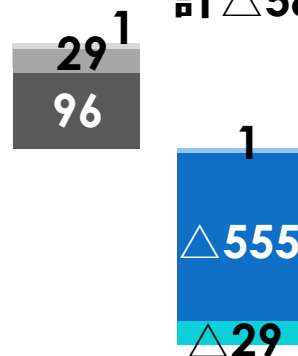
計 7,754



売上高

計 127

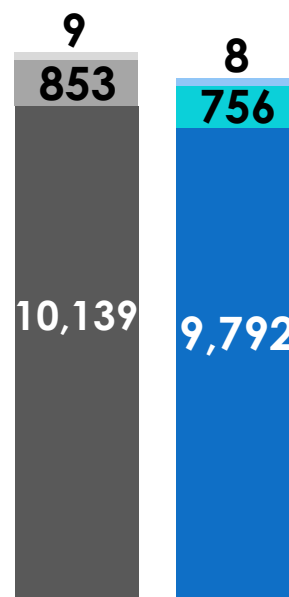
計 Δ 584



セグメント利益

計 11,002

計 10,556



売上高

2020/3期

■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他

2021/3期

■ 自動車部品 ■ 住宅 ■ その他

計 36

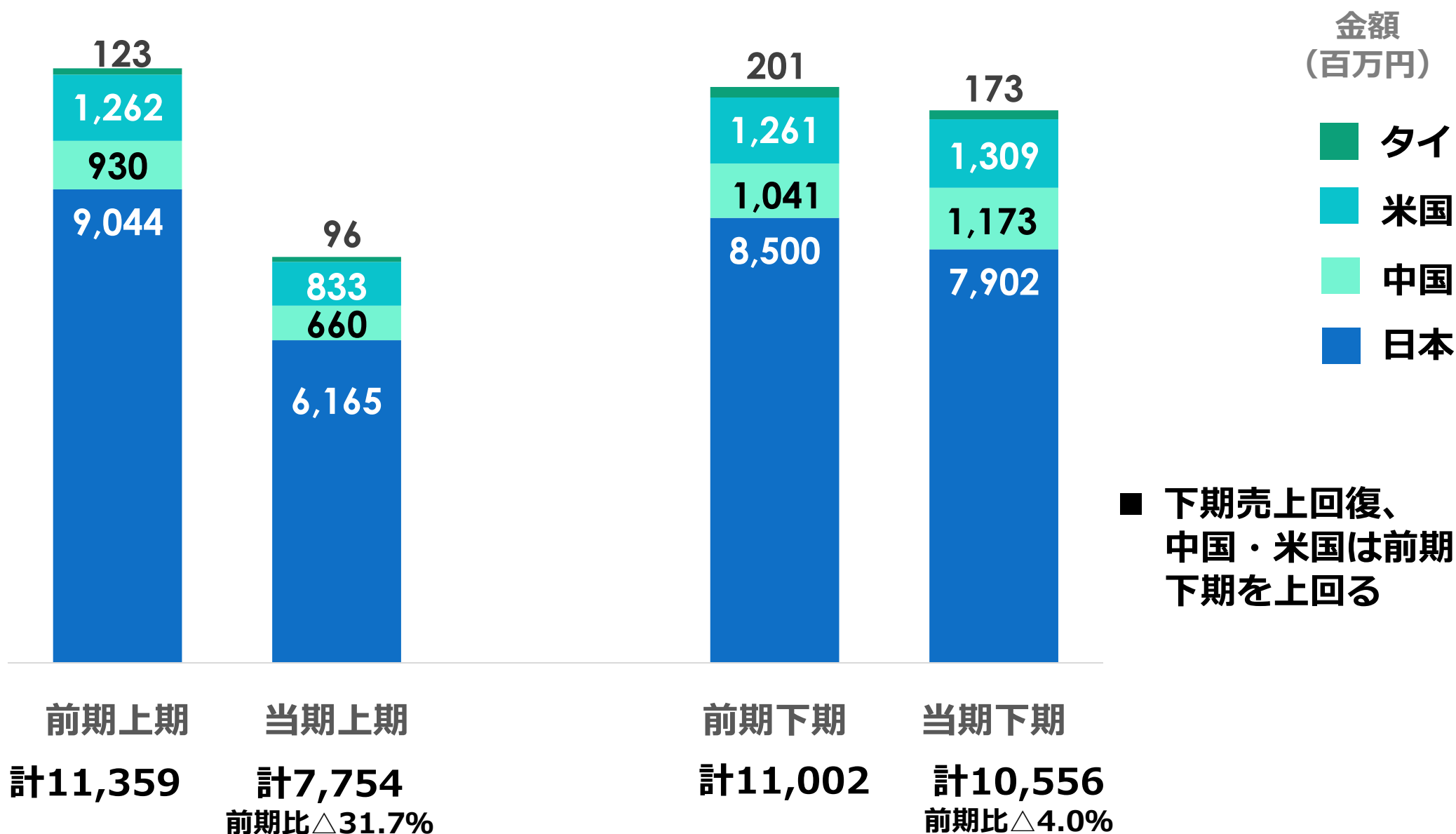
計 68



セグメント利益

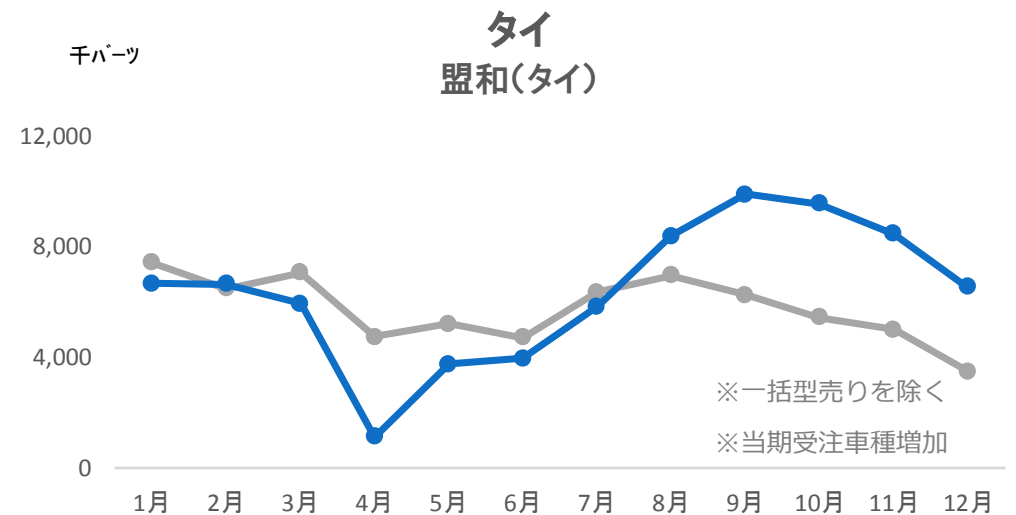
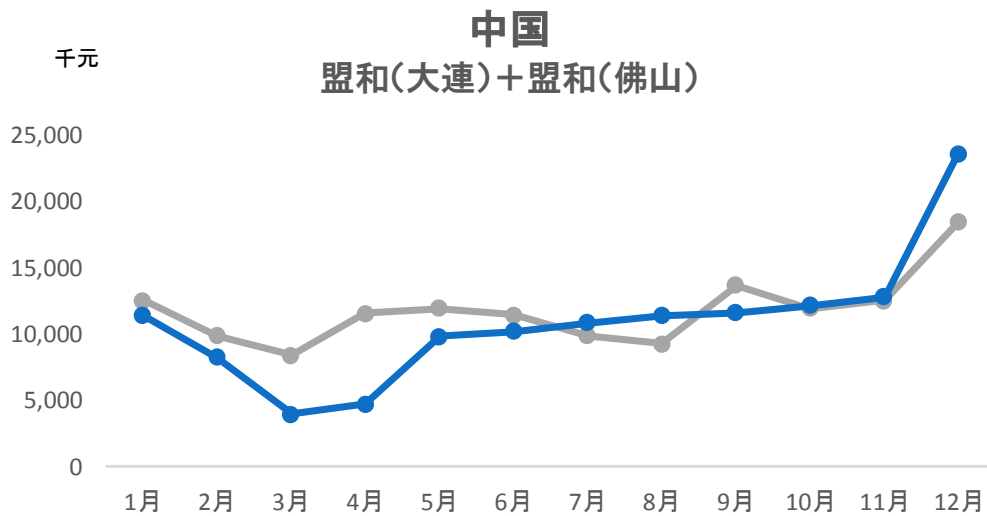
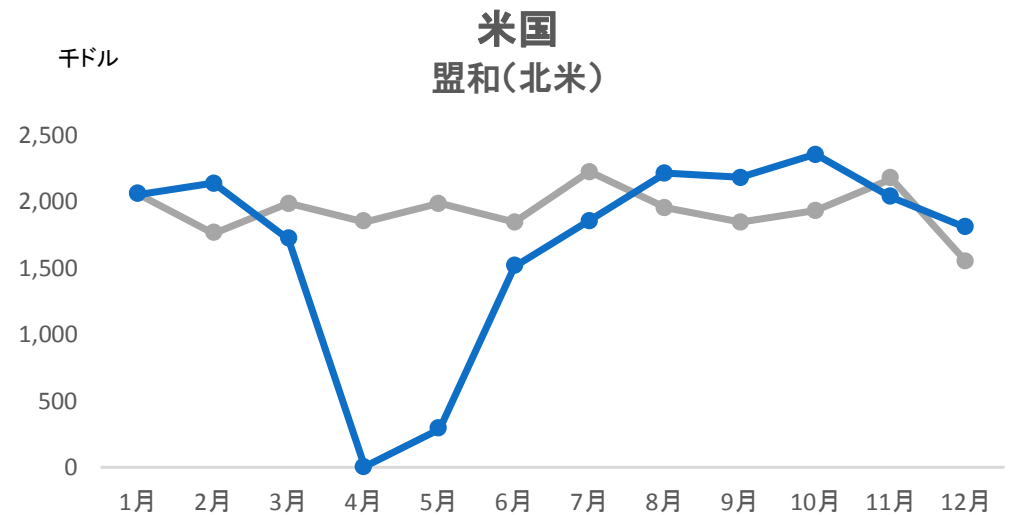
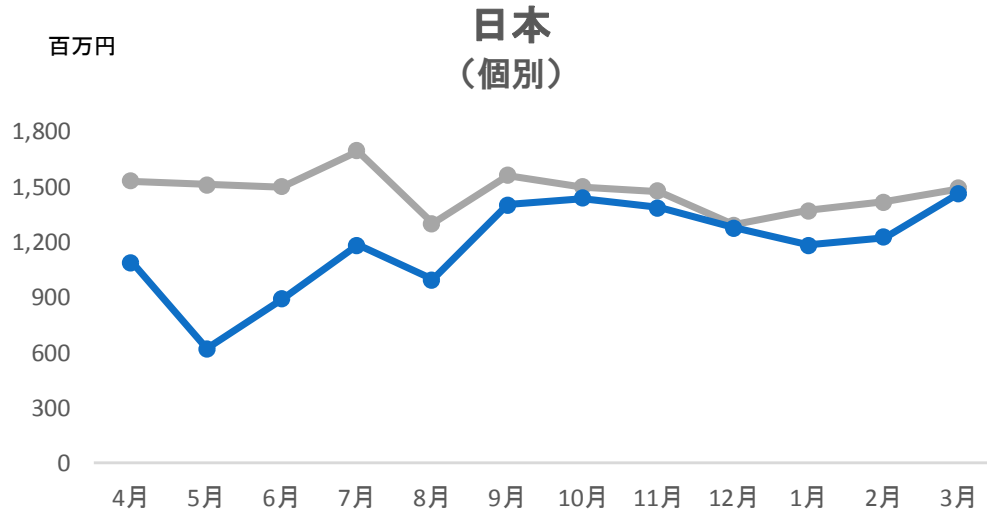
■ 自動車、住宅ともに下期黒字化

地域別売上高（半期毎）



月別売上高（現地ベース）の推移

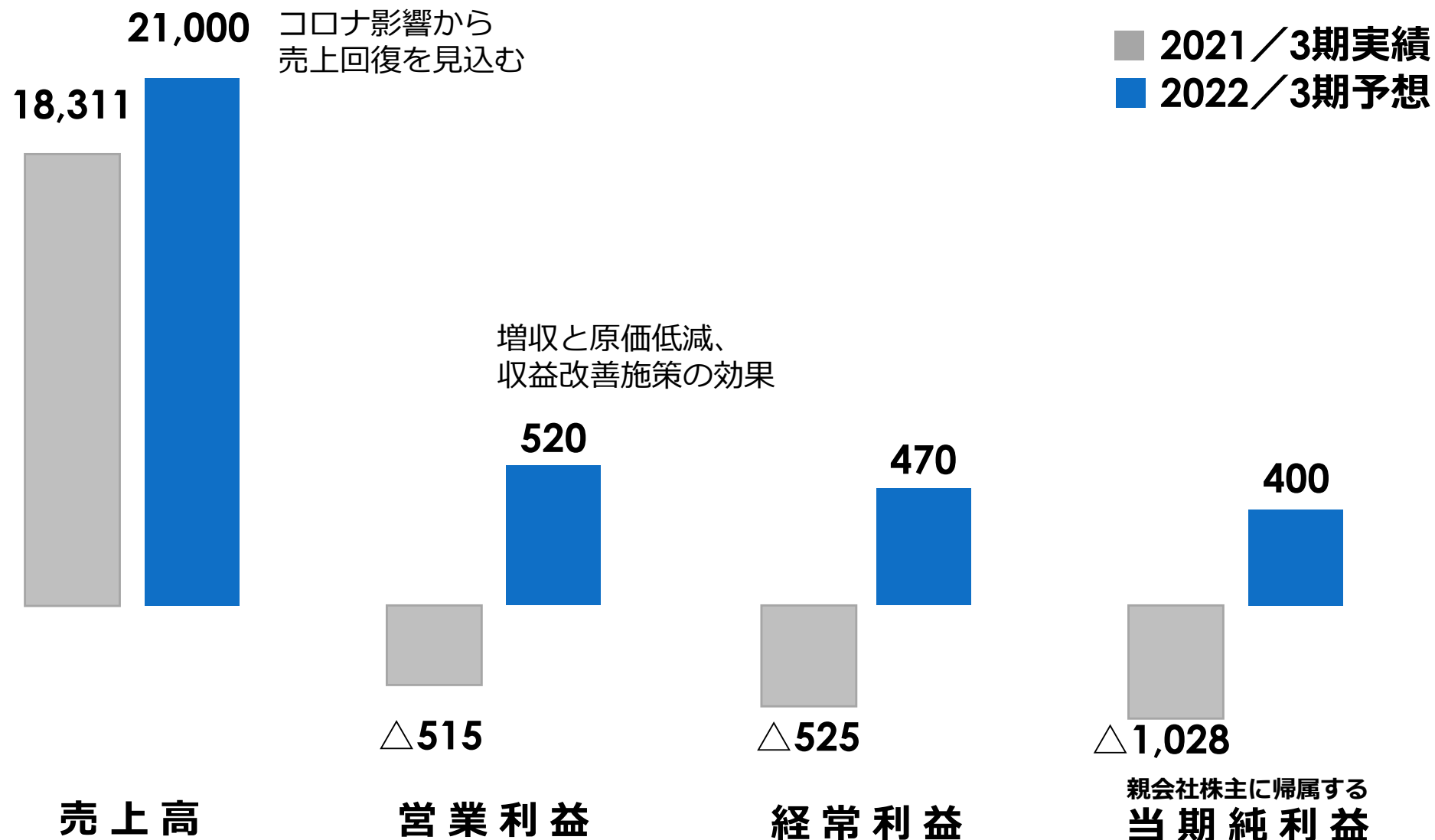
● 前年同期売上高 ● 当期売上高



Ⅱ 通期業績見通しおよび 重点課題の取組み

通期業績見通し

(百万円)



国内の収益力強化

新型コロナウイルス減産影響の挽回策
全社プロジェクト組成し黒字回復図る




盟和産業

- ◆原価低減案件の積上げ
- ◆工場間接部門の効率化、物流チーム集約
- ◆拠点集約、販管部門の連携強化と効率化
- ◆体制・報酬見直し

受注活動積極化

コロナ影響から早期に回復
受注活動積極化し業容拡大を図る



盟和(大連)汽車配件
有限公司

盟和(佛山)汽車配件
有限公司

- ◆ 日系自動車メーカーとの取引強化
- ◆ 車の電動化・自動化ニーズに積極対応
現地EVメーカーから受注獲得
- ◆ 盟和(佛山)へメイトーン押出機
2号機導入し品揃え拡充

収益力強化と受注拡大

コロナ影響から回復し下期黒字化達成
収益力強化と受注拡大に注力



MEIWA INDUSTRY
NORTH AMERICA, INC.

- ◆原価低減徹底し営業黒字定着
- ◆日系自動車メーカーへの受注提案積極化
- ◆非日系、自動車以外の開拓進める

経営体質の強化

- ◆ 2018年にマット一貫生産設備導入
受注増加するもコロナ影響を受ける
- ◆ タイの自動車生産がコロナ前の水準
回復まで暫く時間を要する見通しを
踏まえ固定資産を減損
- ◆ 固定費圧縮し損益分岐点引下げ

**タイはマット生産の重要拠点
グループ連携強化・体制効率化して
受注拡大に取り組む**



MEIWA INDUSTRY
(THAILAND) CO.,LTD.

新技術開発 開発テーマ (例)

分野	開発テーマ例	CASE (電動化) 対応	SDGs対応
自動車部品	ラゲージ (荷室) サイド向け基材	軽量	廃棄物削減・省エネルギー
	パッケージトレイ (新規分野)	軽量・吸音	省エネルギー
	軽量・高剛性ラゲージボード (3種類)	軽量	省エネルギー
	軽量・断熱材製品	軽量・断熱	省エネルギー
	電磁波シールド材製品	ノイズ遮断	
	吸遮音材製品	静粛性	
住宅	避難所用防災間仕切り・簡易ベッド		
	住設資材の施工性改善		
生産工法	過熱蒸気加熱		省エネルギー

研究開発費

- 技術者の人件費等を含む実績
2020年3月期4.7億円、2021年3月期4.5億円
- 2022年3月期は約5億円を計画

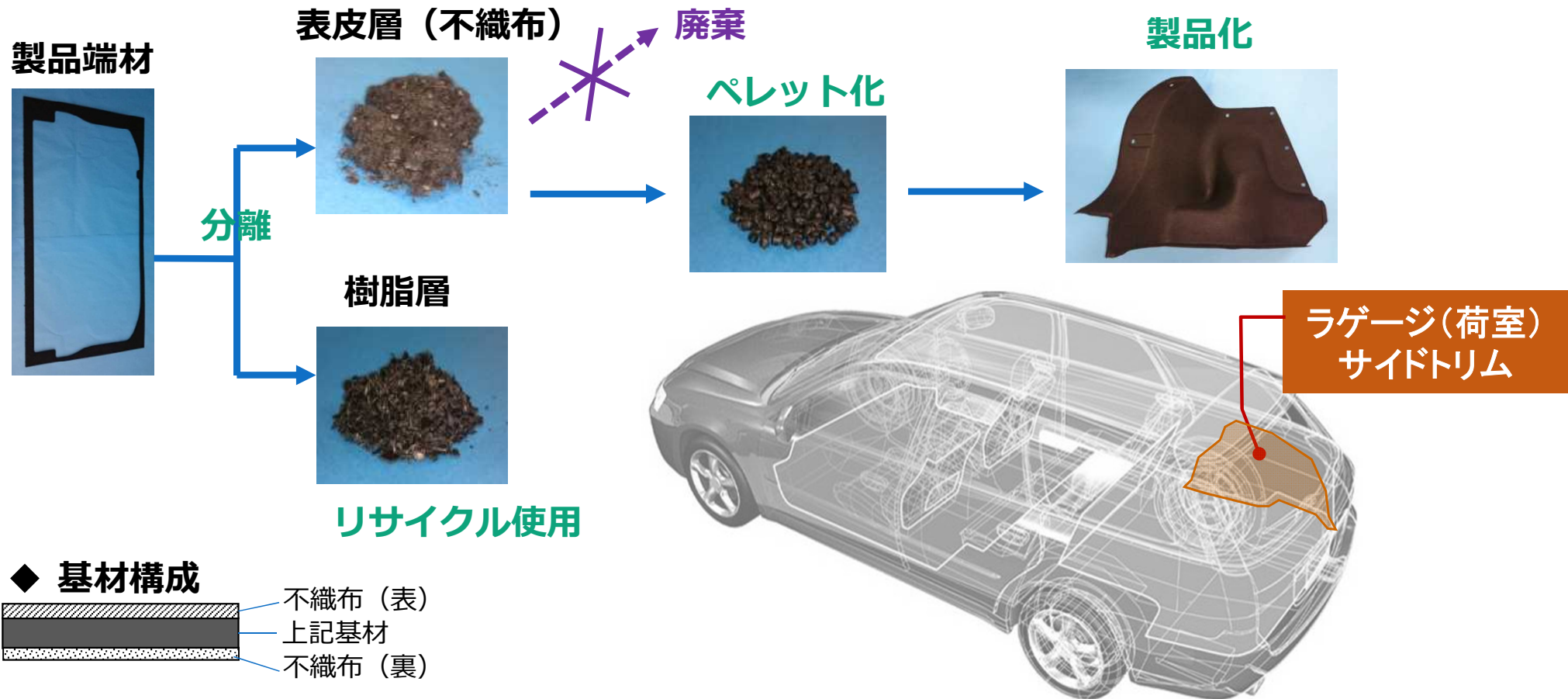
SDGs貢献の取組み

- リサイクル材料の使用を通じた
廃棄物の発生抑制、資源の有効活用
- 製品の軽量化による自動車の
燃費性能向上への貢献



新技術開発 ラゲージ（荷室）サイド基材

- ▶ 製品端材を不織布を含めて全面的にリサイクル活用
- ▶ 環境負荷低減（廃棄物削減）と低コスト化を実現



新技術開発 パッケージトレイ

- 当社にとって初の部位（後部座席の後方カバー）
- 軽量、低コストを実現

【軽量化】

PP+GFによる
高剛性・耐熱性

X

【設計自由度】

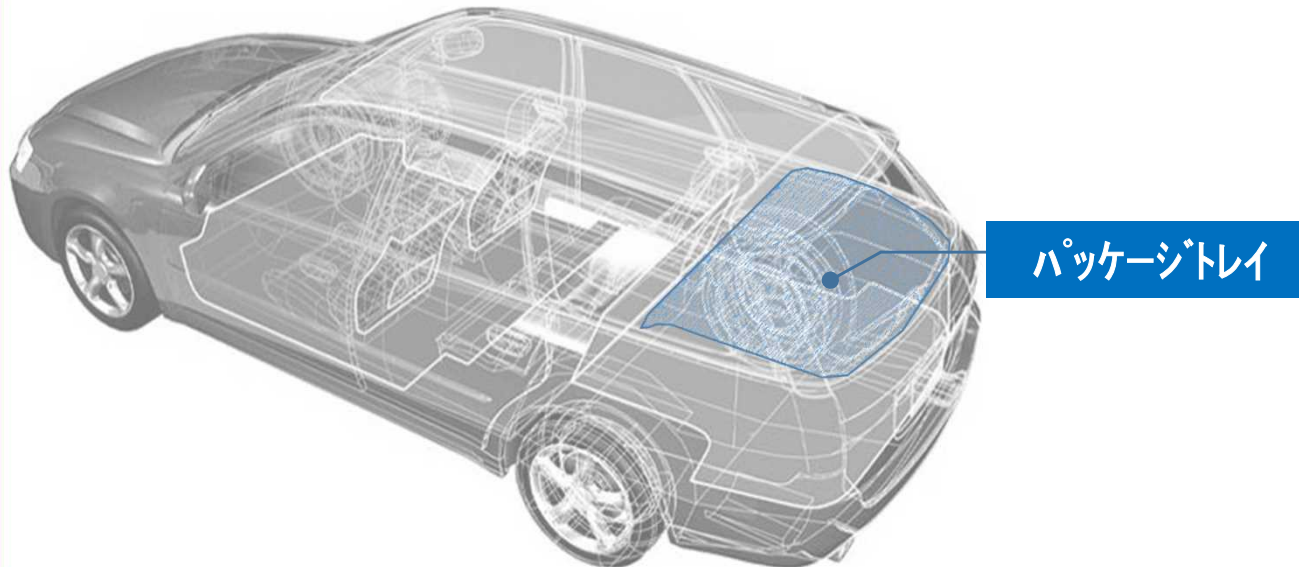
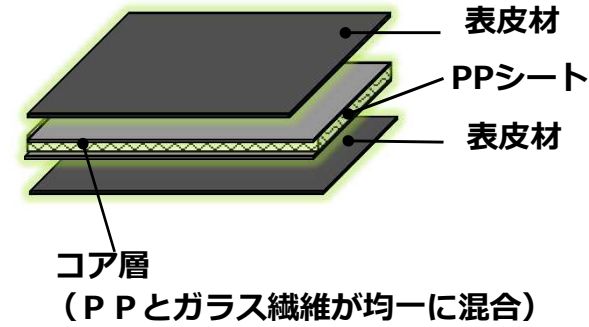
機能に合わせた
製品形状が
可能

X

【吸音機能】

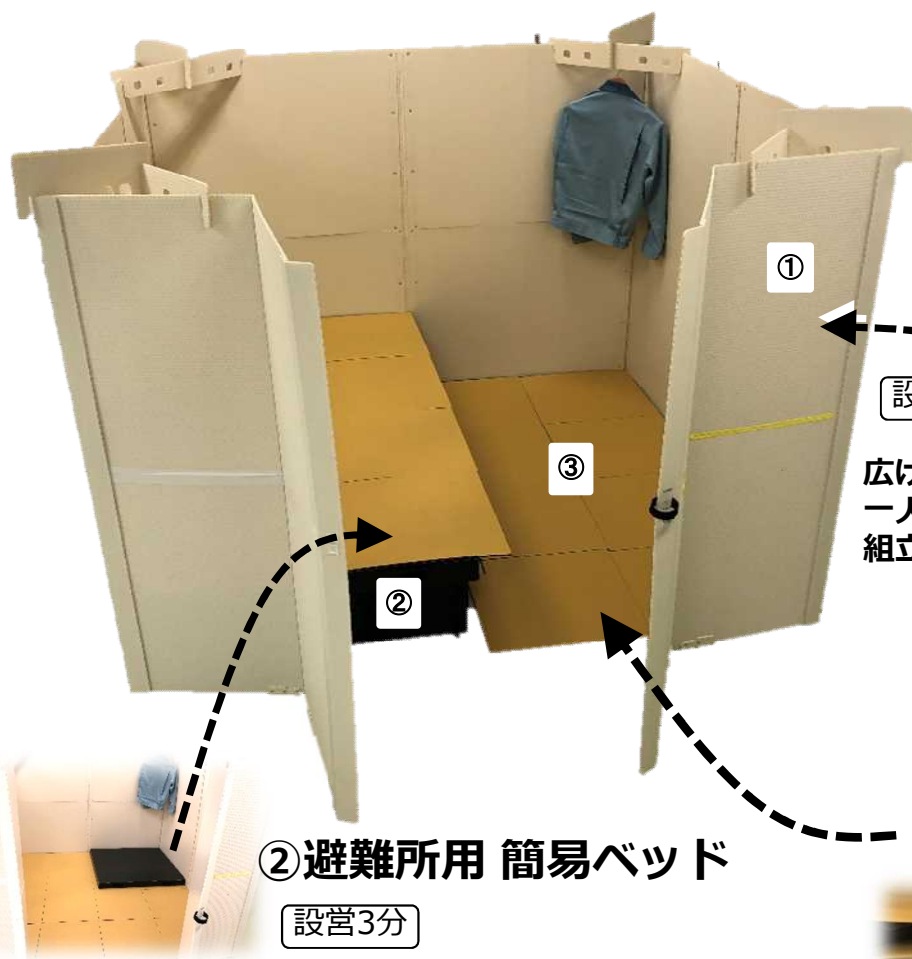
フェルト等の
吸音材コスト低減

◆ 構成



新技術開発 避難所用間仕切り・ベッド

- 防災性能を付加したメイトーン製品
- 間仕切り・簡易ベッド・断熱ソフト床の組み合わせ

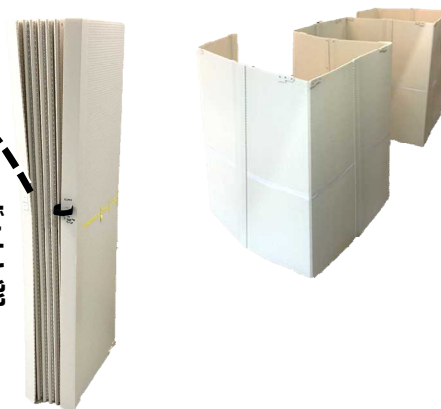


①避難所用 簡易間仕切り

- ◆ ワクチン集団接種会場
- ◆ 授乳スペース
- ◆ 控室等にも利用可能

設営2分

広げるだけで
一人で簡単に
組立てが可能

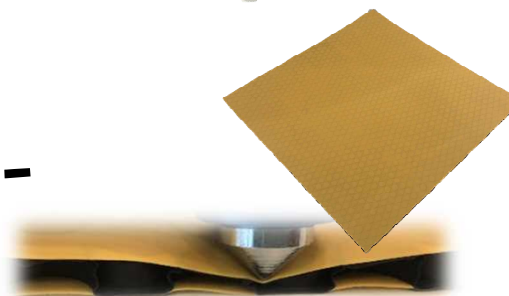


特長

- 防災・自己消火性
- 耐水・耐薬品性
- リサイクル可能

③断熱ソフト床

クッション性を付加した
ソフトメイトーン



中期経営計画RD365 概要

- 期間：2020年3月期～2022年3月期（3年間）
- 重点課題
 - ◆ 収益力強化 グローバル各拠点の収益化
 - ◆ 市場開拓 内外連携強化し受注拡大
 - ◆ 新技術開発 次の主力製品開発
- 3年後、当期純利益6億円 ROE5%以上を目指す

新型コロナウイルス影響を踏まえ見直し検討
重点課題の方向性は不変
コロナ影響の挽回と収益改善に注力

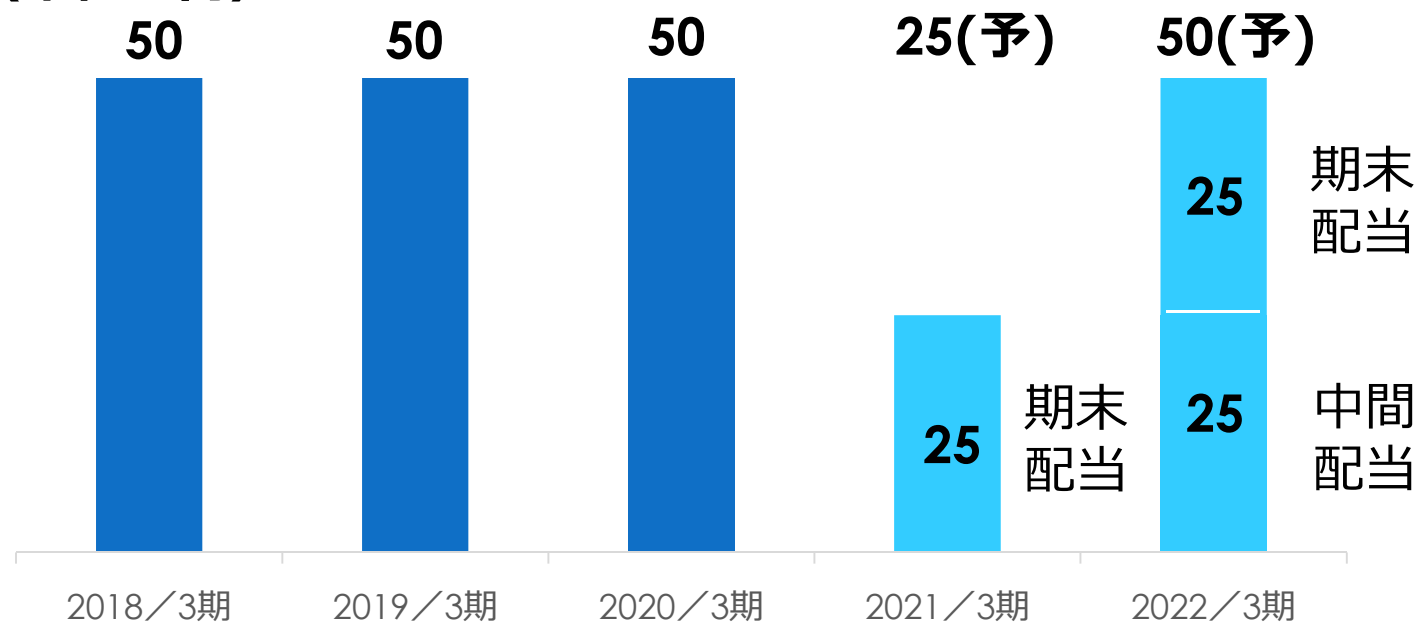
Ⅲ 株主還元

利益配分に関する基本方針

企業基盤強化のために必要な内部留保を確保しながら、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して配当を決定

一株当たり配当金の推移

(単位：円)



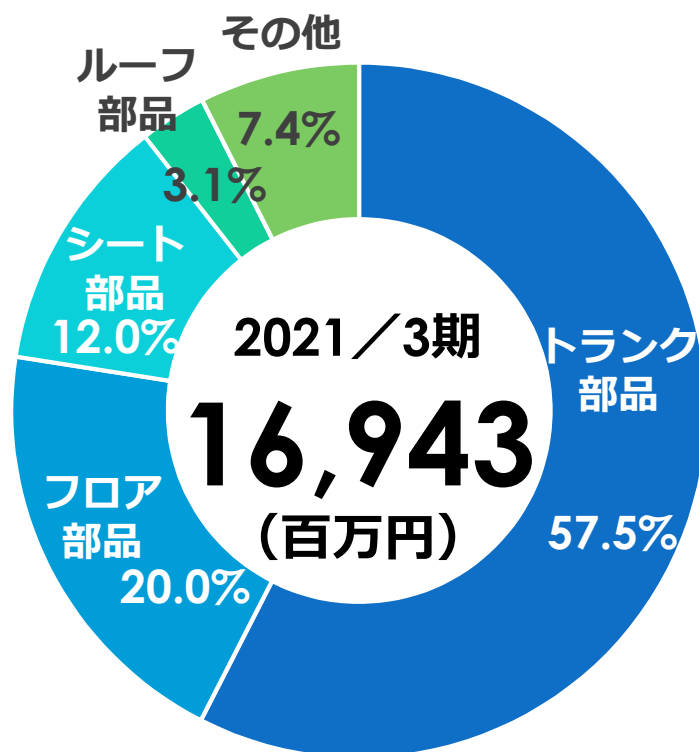
- 中間配当はコロナ影響を勘案し見合わせ
- 業績回復により期末配当25円、22年3月期は年間50円を見込む

IV (ご参考) 売上高の内訳等

自動車部品の部位別売上高

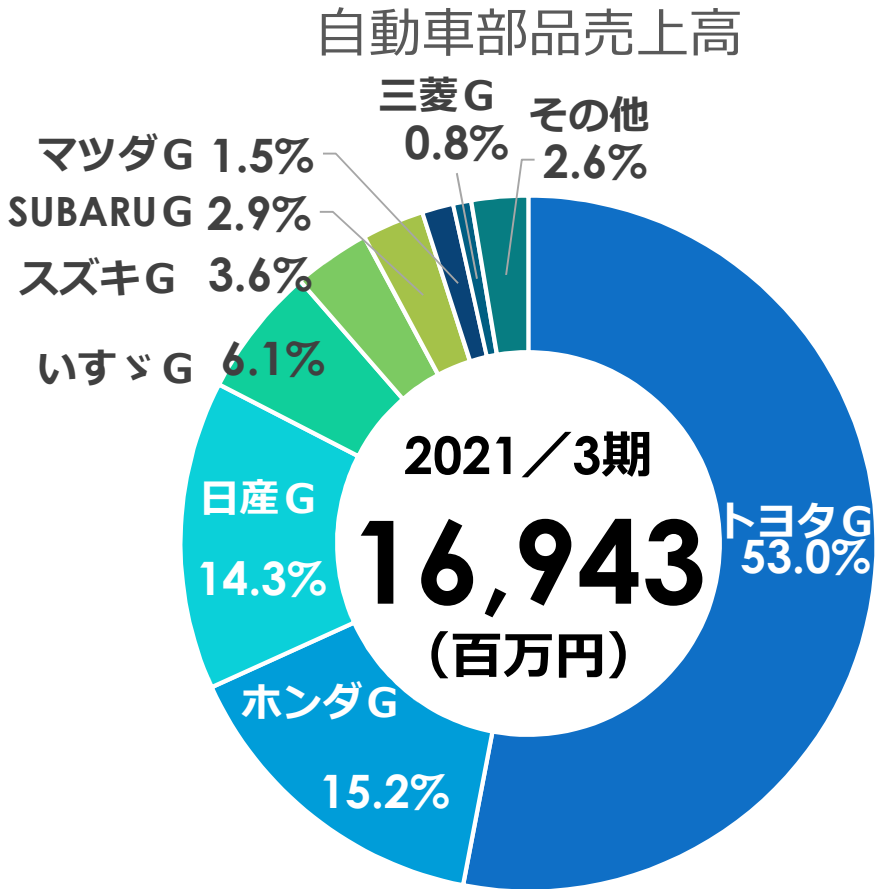
売上構成はトランク部品が約 6 割

自動車部品売上高



	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トランク部品	9,745	57.5
■ フロア部品	3,381	20.0
■ シート部品	2,024	12.0
■ ルーフ部品	528	3.1
■ その他	1,263	7.4

自動車部品のメーカー別売上高

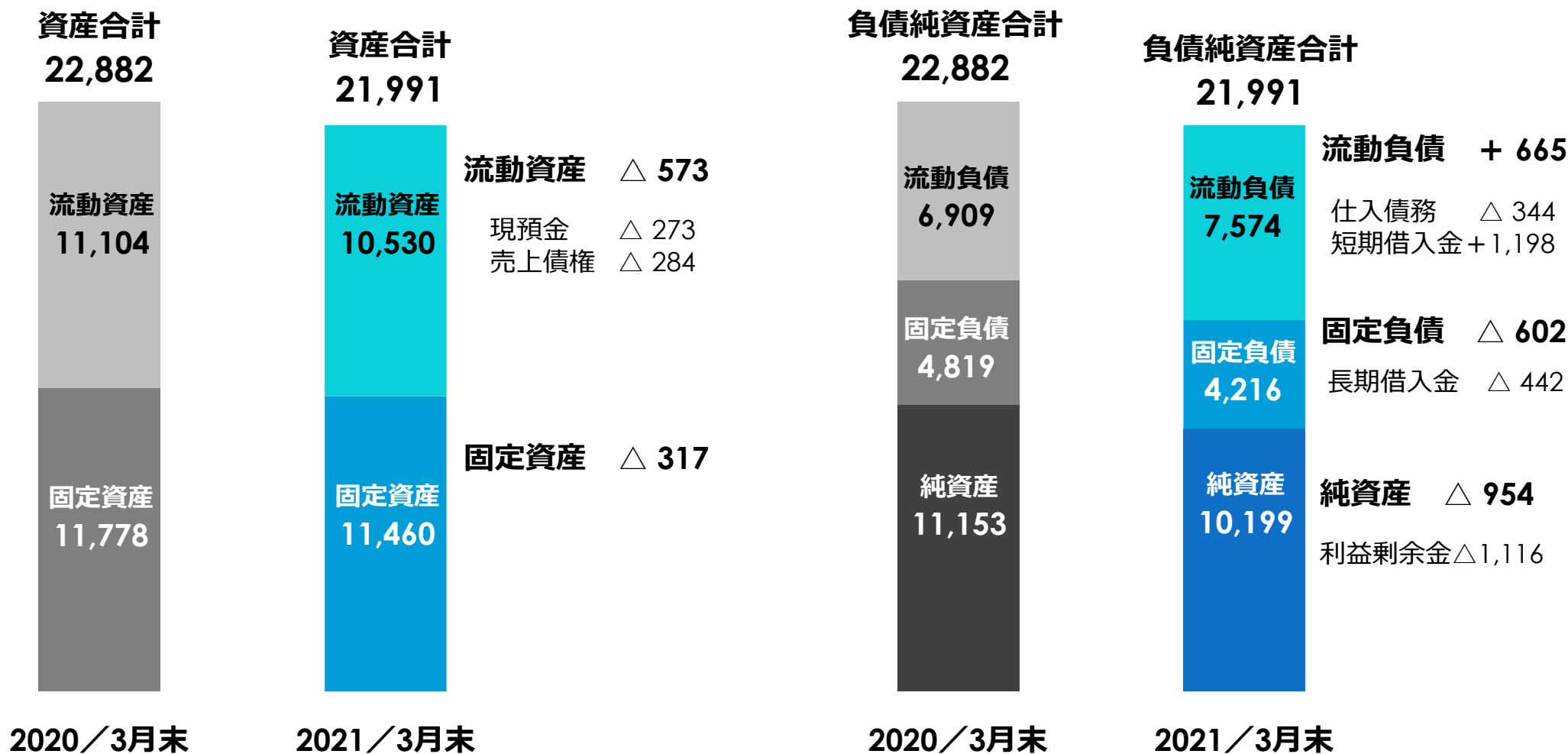


トヨタグループ向けが約5割

	金額 (百万円)	構成比 (%)
■ トヨタG	8,981	53.0
■ ホンダG	2,577	15.2
■ 日産G	2,428	14.3
■ いすゞG	1,025	6.1
■ スズキG	604	3.6
■ SUBARUG	489	2.9
■ マツダG	245	1.5
■ 三菱G	142	0.8
■ その他	447	2.6

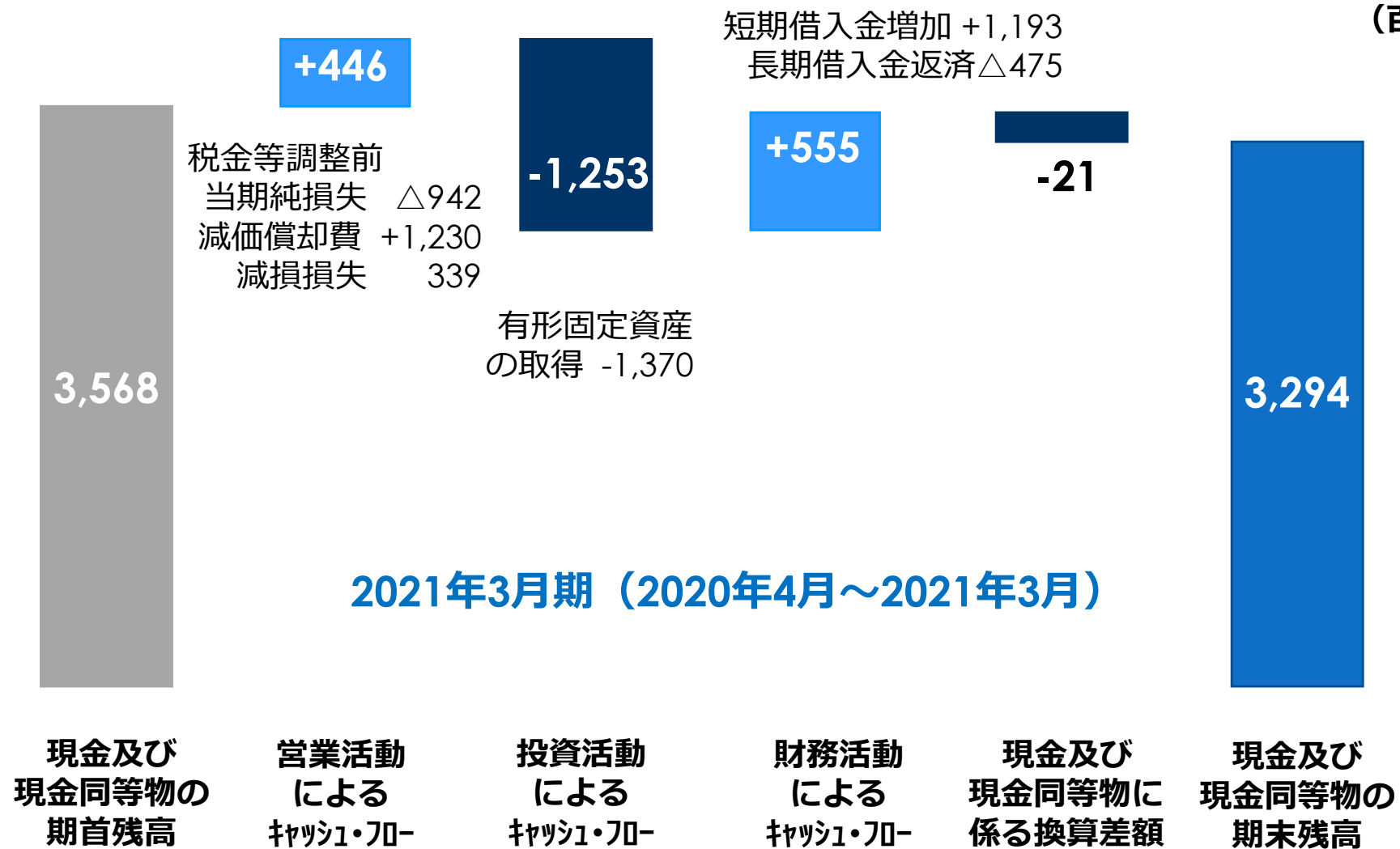
バランスシートの概要

(百万円)



キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)



2021年3月期 (2020年4月～2021年3月)

本資料に記載されている将来に関する見通しは、不確定なリスク要因を含んでおります。したがって、実際の結果は様々な要因によって見通しと大きく異なる可能性があります。ご了承ください。

盟和産業株式会社

